

## 「インフラの町医者」 —長寿命化の秘訣は予防保全にあり—



株式会社 中網組 代表取締役 羽賀 義広

〒034-0036 青森県十和田市東六番町3番36号

TEL 0176-23-7175

<http://nakatuna.com>

### はじめに

お陰様で株式会社中網組は、本年で創業80年を迎えることができました。これもひとえに先輩諸兄をはじめ皆様のご支援、ご助力の賜物と深く感謝申し上げます。弊社は、この節目の年を迎えて「橋の町医者」にさらに磨きをかけて「地域が熱望するインフラの町医者」として鋭意努力して参る所存です。

### 予防保全による長寿命化とライフサイクルコスト！

平成24年度青森県橋梁長寿命化修繕計画の試算では、橋梁アセットマネジメントの運用（従来の事後保全型から予防保全型維持管理への転換）により「今後50年間で777億円のコスト縮減」が可能との結果が示されました。

維持管理の50年間 LCC 総額：事後保全型 1,501億円 → 予防保全型維持管理型 724億円

『転換コスト縮減効果 777億円！』

予防保全による長寿命化を積極的に広めよう！

### 予防保全の有効性を高める7つの重要ポイント！

#### ○ポイントその1 『健全度の把握！定期点検と日常点検』

長寿命化のためには、まず健康状態の把握が重要です。5年に一度の近接目視による定期点検に加え、日常点検（1回以上/年）により変状の有無を補完します。



#### ○ポイントその2 『橋長15m以上の効率的な維持管理』

橋梁は橋長15m未満と橋長15m以上に区分しますが、橋長15m以上は中小橋から長大橋まで範囲が広いので、桁スパン長を中・大・長大に細区分し、それに適合した予防保全型維持管理を行うことが望ましいと考えます。

#### ○ポイントその3 『点検箇所見える化』

予防保全を含む補修補強に「見える化」工法を選定すると、施工後の橋梁点検が容易になります。



#### ○ポイントその4 『清掃作業とメンテナンス』

劣化・損傷を助長する要因となる雨水の帯水や土砂の堆積は、日常的な維持管理により健全化を図ります。また、メンテナンスが必要な塗替塗装や付属物交換などは、メンテナンス間隔が長いものが有利です。

#### ○ポイントその5 『新設時は、基本に帰り良品質なコンクリートの施工を！』

コンクリート構造物は、新設時に緻密で耐久性のあるコンクリートを造ることが一番の長寿命化策です。

#### ○ポイントその6 『劣化因子の抑制は初期段階から：水を遮断し溜め込まない！』

表面含浸材等は、初期段階に施工すると予防保全効果が高まります。沿岸部等の環境の厳しい場所では、エポキシ樹脂鉄筋の使用、鋼桁の工場塗装、電気防食等の対策の併用も重要です。

#### ○ポイントその7 『予防保全は、劣化しやすい橋梁端部の改良を重点に！』

支承部等の橋梁端部は、重要な部位である反面、劣化・損傷が進行しやすいため高耐久性の予防保全を行う必要があります。

### 予防保全による長寿命化を全てのインフラに！

安全安心な橋梁を低コストで長く使用する秘訣は、定期的健康診断（点検）による病気の早期発見と予防対策にあります。そして「予防保全による長寿命化」は、全てのインフラに水平展開できる有効な方策と言えます。



劣化・損傷しやすい桁端部